A stylized globe showing the continents of Asia, Australia, and parts of Europe and Africa, rendered in a dark red color against a lighter red background. The globe is positioned on the left side of the slide.

# 2018年9月期 決算説明会資料

2018年11月21日(東京)  
11月26日(大阪)



# 1. 会社概要

## 2. 2018年9月期決算サマリー

## 3. 今後の取り組み

(ご参考資料)



商号	IMV株式会社 [英文社名] IMV CORPORATION
会社設立	1957年(昭和32年)4月17日
資本金	4億6481万円
従業員数	362名 (2018年9月30日現在 連結)
年間売上高	110億 4,492万円 (2018年9月期 連結)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
証券コード	7760
決算期	9月30日



# グローバルネットワーク

## 日本高度信頼性評価試験センターを開設



### Osaka

大阪



- ・本社
- ・大阪営業所

### Iruma

入間



日本高度信頼性評価  
試験センター

### Tokyo

東京



- ・東京営業所
- ・東京エンジニアリングサービス部



- ・MESエンジニアリングサービス部
- ・東京テストラボ

### Nagoya

名古屋



- ・名古屋営業所
- ・名古屋テストラボ

### Uenohara

上野原



上野原サイト 高度試験センター

IMV CORPORATION

# グローバルネットワーク

## IMV TECHNO VIETNAM CO., LTDが稼働開始



Germany

ドイツ



IMV EUROPE LIMITED  
German Sales Office

Thailand

タイ



IMV (THAILAND) CO., LTD

China

中国



IMV CORPORATION  
Shanghai Representative Office

U.S.A.

アメリカ



IMV America, Inc.

U.K.

英国



IMV EUROPE LIMITED



IMV EUROPE LIMITED  
European Manufacturing Centre



1g dynamics

Vietnam

ベトナム



IMV TECHNO VIETNAM CO., LTD

IMV CORPORATION

# 事業セグメント



メジャリングシステム

MES  
Measuring  
Systems



TSS  
Test & Solution  
Service



テスト&ソリューションサービス

16%

売上  
構成比

振動試験装置

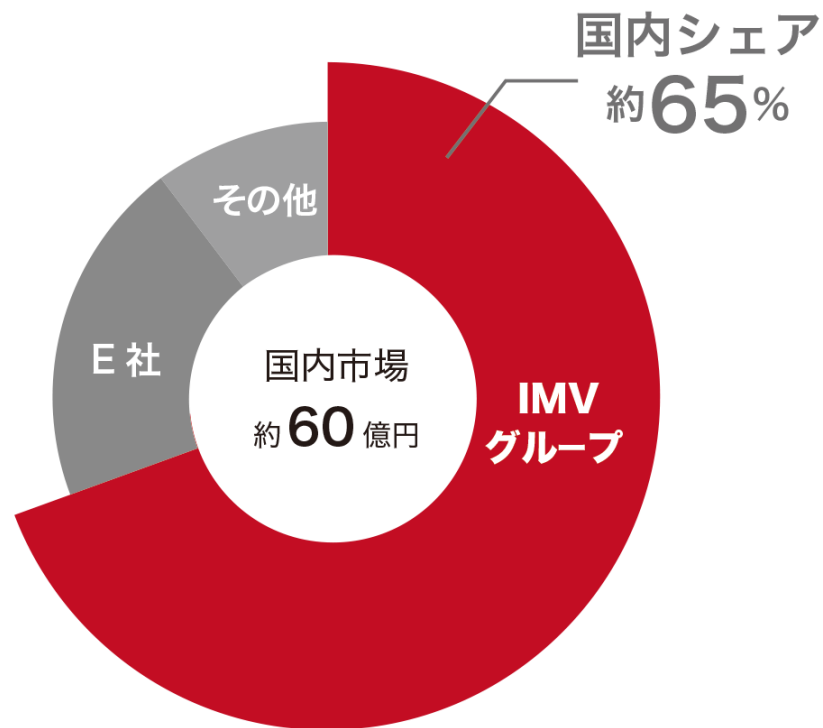
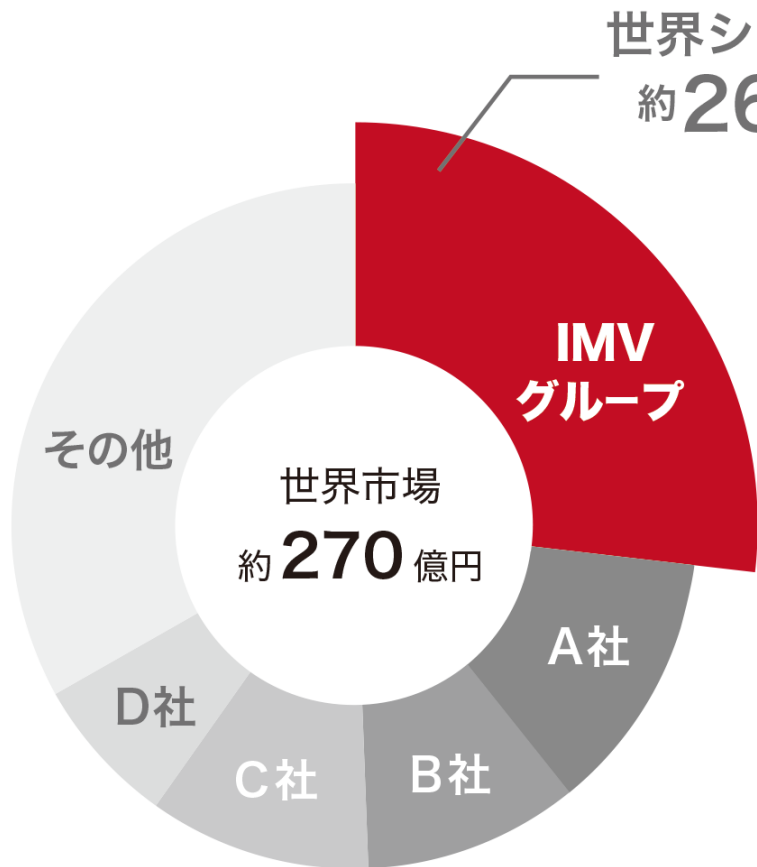
73%

DSS  
Dynamic  
Simulation  
Systems



IMV CORPORATION

110億 4,492万円  
(2018年9月期 連結)





1. 会社概要

2. 2018年9月期決算サマリー

3. 今後の取り組み

(ご参考資料)



# 決算概要



(単位:百万円)

	18/9期 実績	17/9期 実績	コメント
売上高	11,044	10,898	振動シミュレーションシステムの輸出が好調だった事に加え、東京テストラボ上野原サイトにおける稼動が順調に推移した結果、増収となりました。
経常利益	918	1,389	減価償却費の増加や為替差益の減少の影響もあり、経常利益は前期比471百万円減益の918百万円となりました。
純資産	6,407	5,996	親会社株主に帰属する当期純利益(578百万円)の計上により順調に増加しました。
フリーキャッシュフロー	△1,951	505	営業活動により34百万円のキャッシュが減少し、さらに有形固定資産の取得等による投資活動に関する支出により1,917百万円のキャッシュが減少した事で、1,951百万円減少しました。
売上高経常利益率	8.3%	12.7%	為替差益の大幅な減少の影響もあり、売上高経常利益率は低下しました。
自己資本比率	40.7%	44.6%	親会社株主に帰属する当期純利益(578百万円)の計上により純資産が増加しましたが、有利子負債の増加により財務安全性が低下しました。
自己資本当期純利益率 (ROE)	9.6%	17.3%	親会社株主に帰属する当期純利益(578百万円)が減少したことにより、自己資本当期純利益率は低下しました。

# 決算概要(連結)



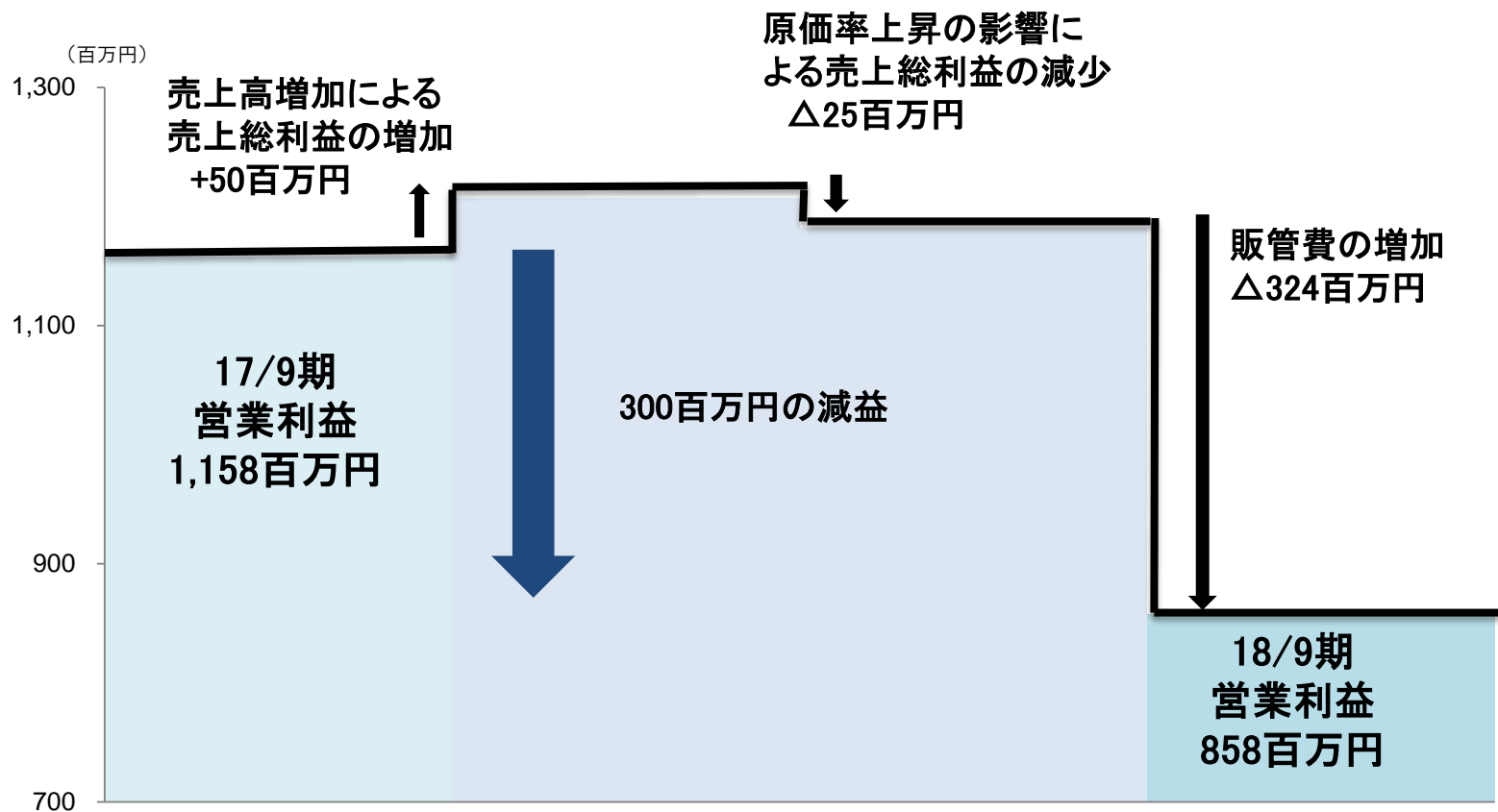
(単位:百万円)

	18/9期 実績	17/9期 実績	増減額	増減率	18/9期 予想	増減率
受注高	12,720	9,626	+3,093	+32.1%	—	—
売上高	11,044	10,898	+146	+1.3%	11,500	△4.0%
営業利益 (営業利益率)	858 (7.8%)	1,158 (10.6%)	△300	△25.9%	1,200 (10.4%)	△28.5%
経常利益 (経常利益率)	918 (8.3%)	1,389 (12.7%)	△471	△33.9%	1,200 (10.4%)	△23.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (当期純利益率)	578 (5.2%)	942 (8.6%)	△364	△38.7%	780 (6.8%)	△25.9%
設備投資額	1,772	582	+1,190	+204.0%	—	—
減価償却費	477	376	+101	+26.6%	—	—
研究開発費	437	511	△74	△14.5%	—	—
従業員数(人)※	362	365	△3	△0.8%	—	—

※△は損失、減少を表します。従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

売上高は前期比146百万円増収の11,044百万円となりました。減価償却費の増加や為替差益の減少の影響もあり、営業利益は前期比300百万円減益の858百万円、経常利益は前期比471百万円減益の918百万円となりました。

# 営業利益増減要因(連結)

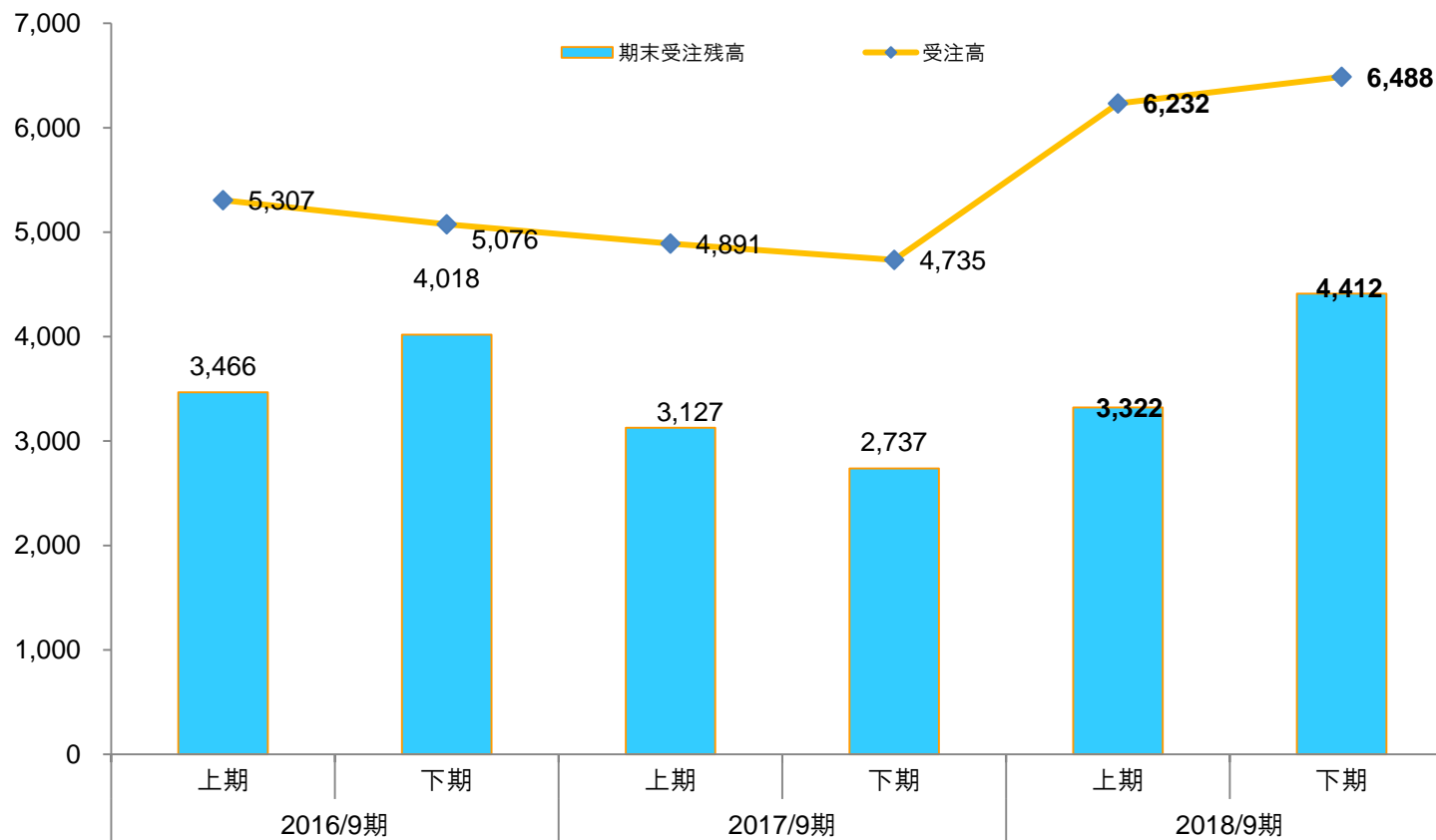


人件費及び販売手数料の増加等による販管費の増加が、増収による売上総利益の増加を上回り、営業利益は300百万円減益の858百万円となりました。

# 受注の状況



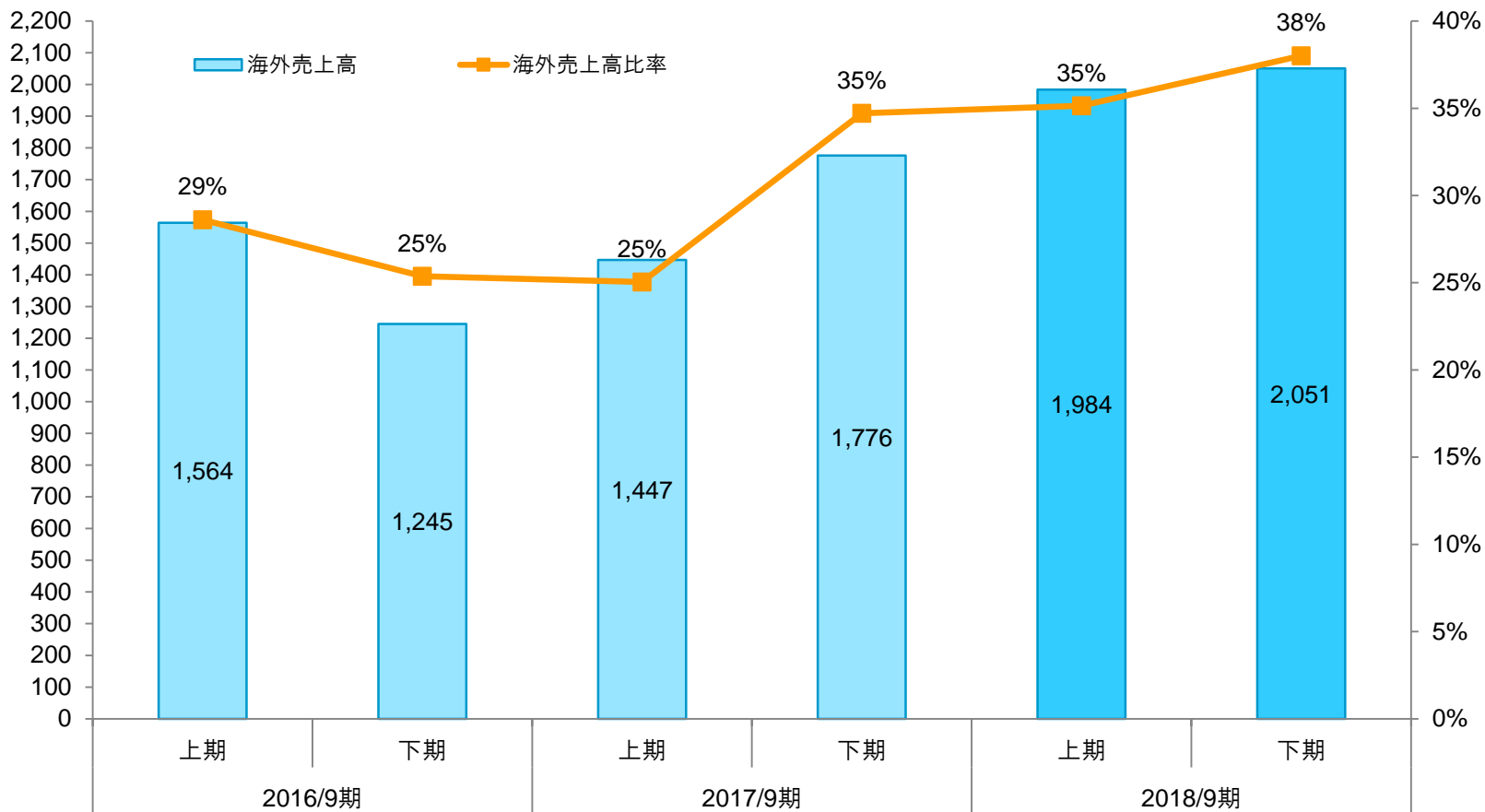
(百万円)



# 海外売上高比率の増減



(百万円)



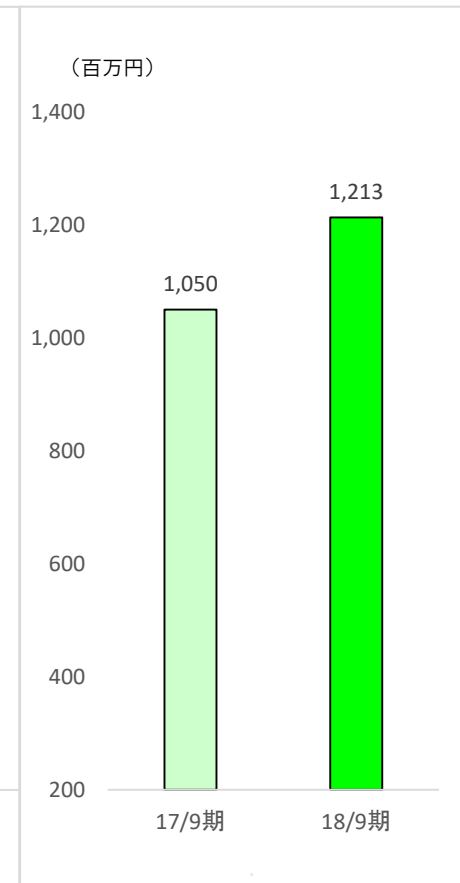
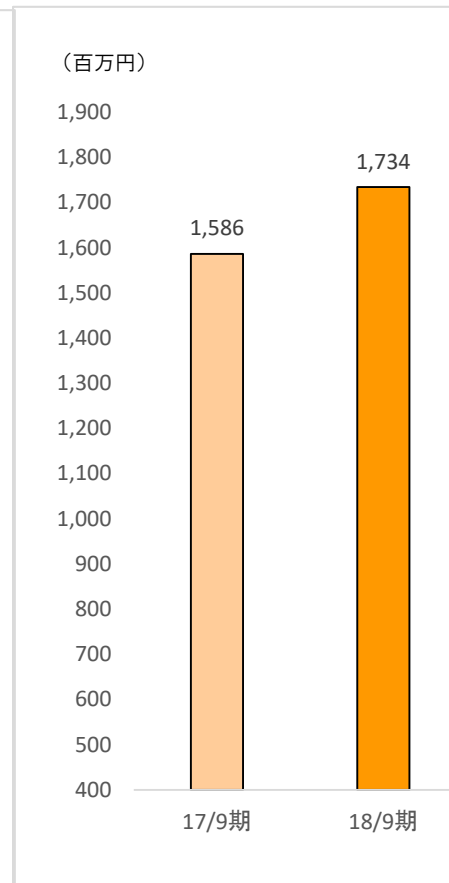
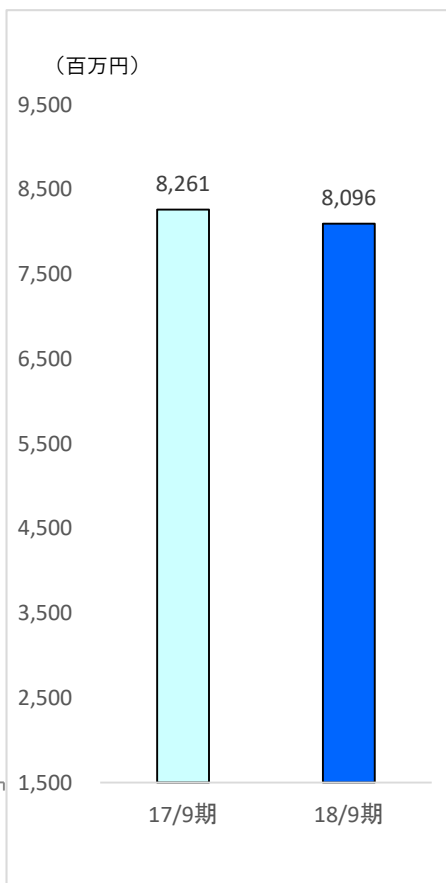
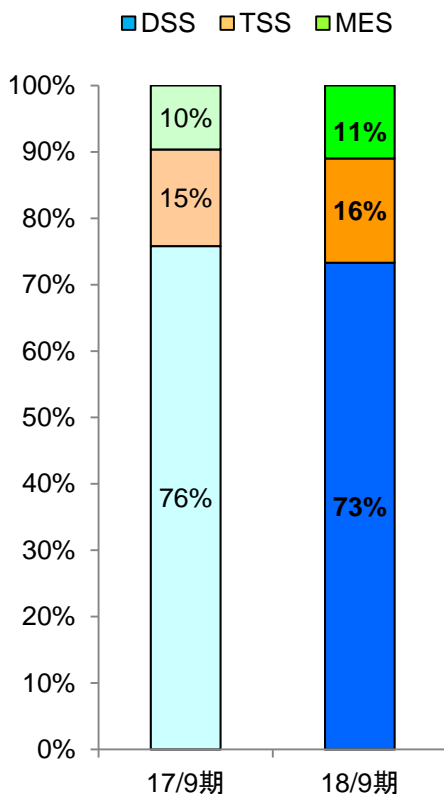


○ 品目別売上構成率

○ DSS事業

○ TSS事業

○ MES事業



DSS事業は台風21号に伴う製品の浸水被害等により減収となりましたが、TSS事業及びMES事業は増収となりました。

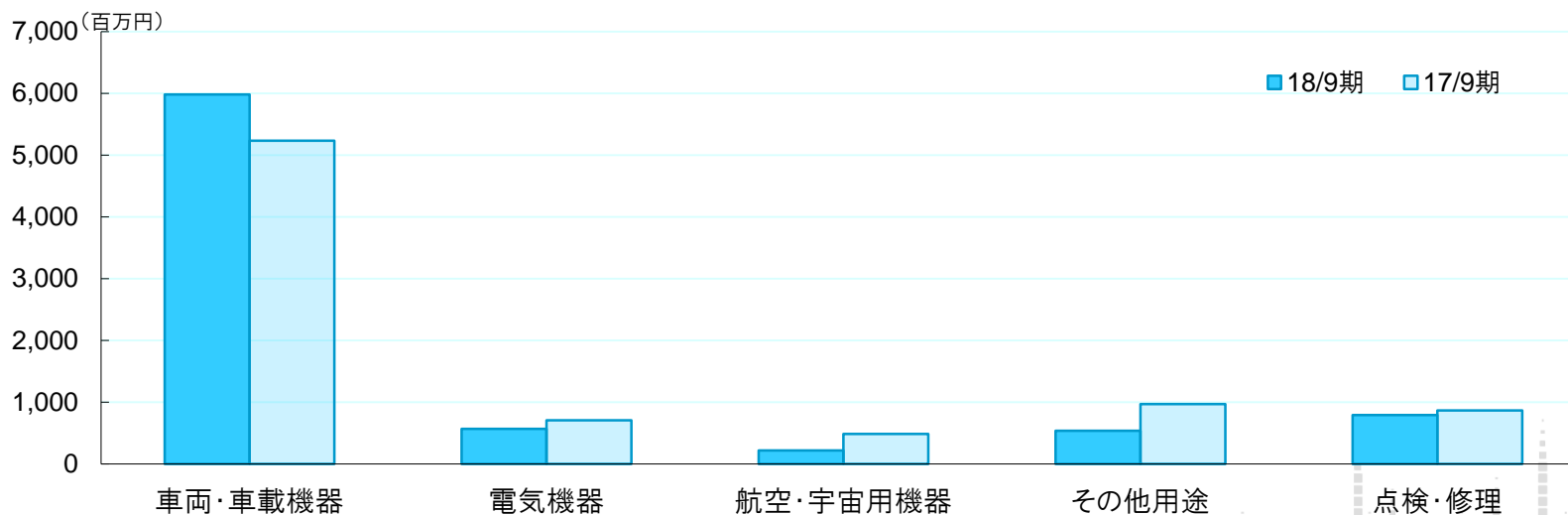
# DSS事業 ～概況～



(単位:百万円)

	18/9期	17/9期	増減額	増減率
車両・車載機器向け	5,981	5,232	749	14.3%
電気機器向け	567	708	-140	-19.8%
航空・宇宙用機器向け	218	485	-266	-54.9%
その他用途向け	536	968	-432	-44.6%
点検・修理	791	865	-74	-8.6%
合計	8,096	8,261	-165	-2.0%

- 車両・車載機器向けは、国内だけでなく海外への輸出も寄与し、順調に売上は増加いたしました。
- 一方、航空・宇宙機器向けは、大型の案件がなかったことにより、売上は減少いたしました。
- また、点検・修理に関しても、国内外の納品作業等が増加し、売上は減少いたしました。



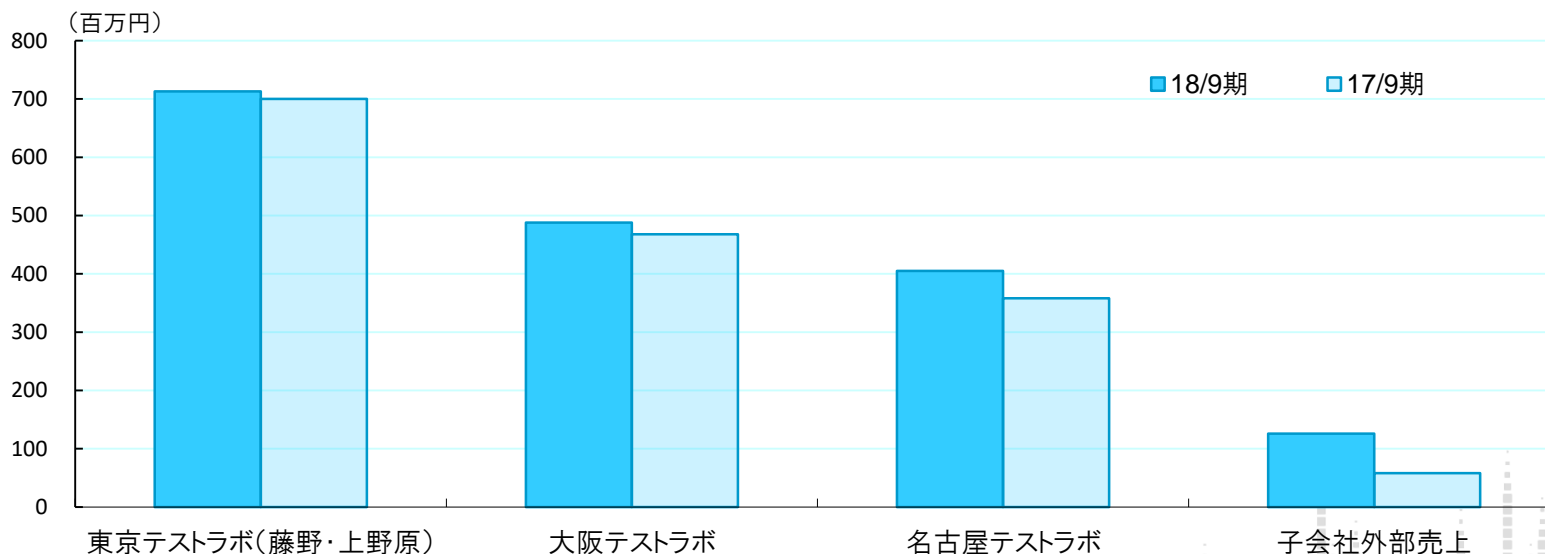
# TSS事業 ～概況～



(単位:百万円)

	18/9期	17/9期	増減額	増減率
東京テストラボ (藤野・上野原)	713	700	12	1.8%
大阪テストラボ	488	468	20	4.4%
名古屋テストラボ	405	358	47	13.1%
子会社外部売上	126	58	68	117.1%
合計	1,734	1,586	148	9.3%

- 東京テストラボ上野原サイトは、振動試験だけでなく電池関連試験が大幅に伸長した事により、前年度比+1.8%となりました。
- 大阪テストラボは、自動車部品関連試験が好調であったことにより、前年度比+4.4%となりました。
- 名古屋テストラボにおいても、EMC試験も含めた自動車部品関連試験の売上が増加しました。
- 国内外子会社での振動試験設備が順調に稼働し、前年度比+117.1%となりました。





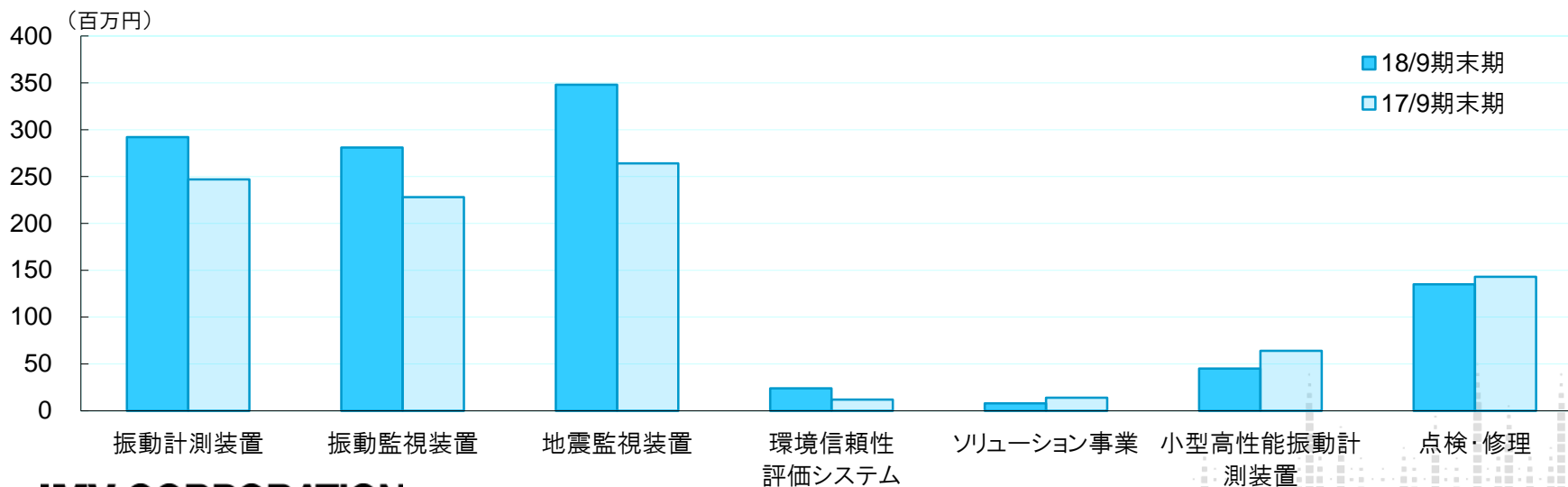
# MES事業 ～概況～

(単位:百万円)



	18/9期	17/9期	増減額	増減率
振動計測装置	292	247	44	17.8%
振動監視装置	281	228	53	23.3%
地震監視装置	348	264	83	31.5%
環境信頼性評価システム	24	12	11	91.8%
ソリューション事業	8	14	-5	-39.3%
小型高性能振動計測装置	45	64	-18	-29.1%
点検・修理	135	143	-7	-5.4%
子会社外部売上	77	74	2	3.3%
合計	1,213	1,050	162	15.5%

- フィリピン向けへの地震監視装置の販売が順調に推移いたしました。
- 国内においても電力会社向け振動計測装置及び振動監視装置の販売が順調に推移いたしました。
- 一方で、小型高性能振動計測装置に関しては、実証研究などは進んでいるものの、減収となりました。



## 業績の見通し(連結)



(単位:百万円)

	19/9期 予想	18/9期 実績	増減額	増減率
売上高	12,000	11,044	+955	+8.6%
営業利益 (営業利益率)	1,200 (10.0%)	858 (7.8%)	+341	+39.8%
経常利益 (経常利益率)	1,200 (10.0%)	918 (8.3%)	+281	+30.7%
親会社株主に帰属する当期純利益 (当期純利益率)	780 (6.5%)	578 (5.2%)	+202	+34.9%
設備投資	815	1,772	△957	△54.0%
減価償却費	677	477	+200	+42.0%
研究開発費	616	437	+179	+41.0%
従業員数(人)※	374	362	+12	+3.3%
1株当たり配当金(円)※	8.0	8.0	0	0%

※ 従業員数には、期中平均臨時従業員数を含みます。

※ 2018年12月開催予定の定時株主総会において上記配当金を附議する予定です。



## 剰余金の配当に関するお知らせ

- 当社は、平成30年11月16日開催の取締役会において、以下のとおり、平成30年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことについて決議しましたのでお知らせいたします。  
なお、本件は平成30年12月21日開催予定の当社第72期定時株主総会に附議する予定であります。
- 株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識し、将来の事業展開と経営体質の強化のために内部留保を確保しつつ、安定的かつ継続して配当を実施することを基本方針としており、当期の配当予想を7.5円としておりましたが、単年度の利益だけではなく過去からの剰余金や今後の事業戦略に供する資金等を総合的に勘案し、0.5円増配の8.0円にさせていただきます。

	決 定 額	直近の配当予想 (平成29年11月14日公表)	前期実績 (平成29年9月期)
基準日	平成30年9月30日	同左	平成29年9月30日
1株当たり配当金	8円00銭	7円50銭	10円00銭
配当金総額	129百万円	—	162百万円
効力発生日	平成30年12月25日	—	平成29年12月25日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金



# 1. 会社概要

# 2. 2018年9月期決算サマリー

# 3. 今後の取り組み

(ご参考資料)

# DSS事業の取り組み① 加振状態シミュレータの開発

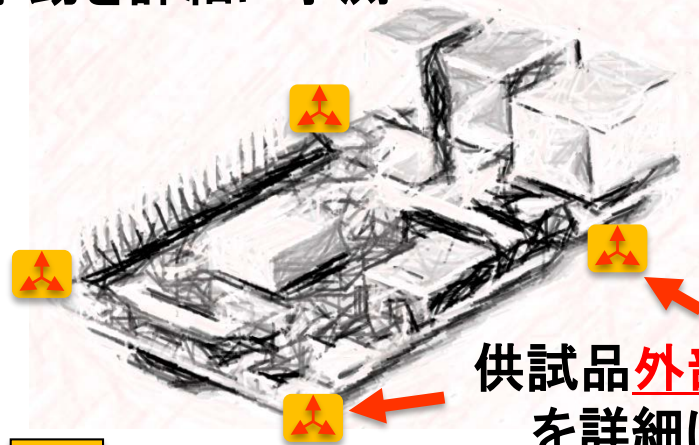


## 加振状態シミュレータの概要

振動試験中の供試品(外部)の挙動を詳細に予測

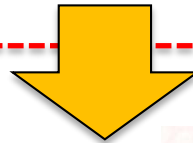


+



供試品外部の挙動  
を詳細に計算

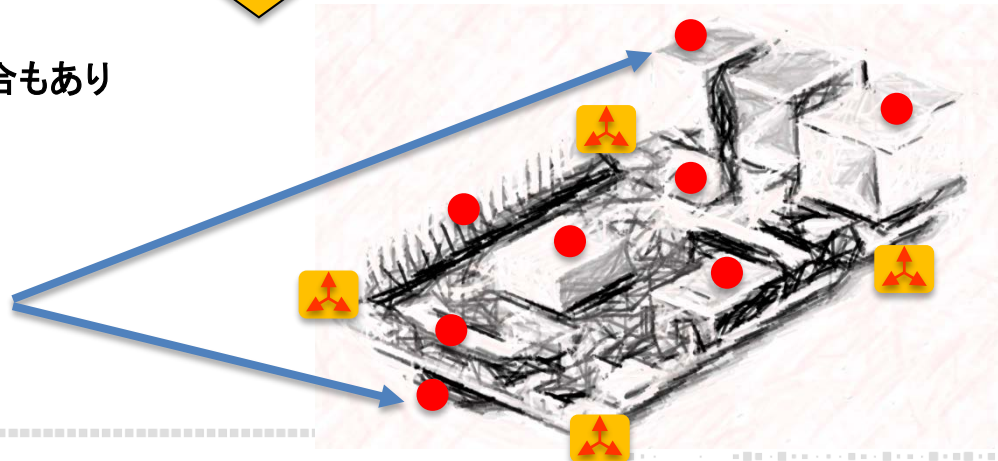
IMV提供のシミュレーション



御客様の計算・検討

※IMVで実施可能な場合もあり

外部の挙動から  
内部を計算・検討



IMV CORPORATION

# DSS事業の取り組み① 加振状態シミュレータの開発



## 加振状態シミュレータの概念

### 機械・電気・制御の統合シミュレーション

#### 加振結果

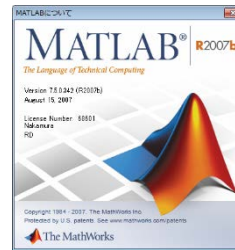
- トランス内外判定
- クロストーク上限判定
- 歪率上限判定
- ピーク加速度判定
- 制御可否判定

応答加速度信号  
※3軸加速度  
※各点加速度

電流・電圧

- 加振可否判定

IMV CORPORATION



=

供試品加速度応答計算モデル

治具・供試品モデル

+

振動試験装置モデル

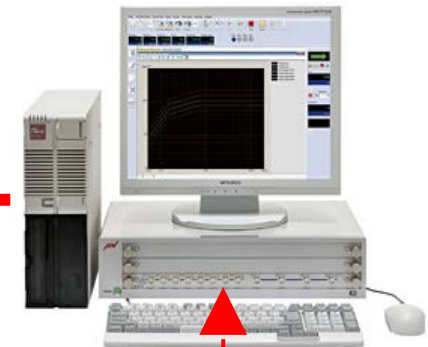
(振動発生機単体+電気的特性)

#### 加振機シミュレータ



ドライブ  
信号

応答加速度信号

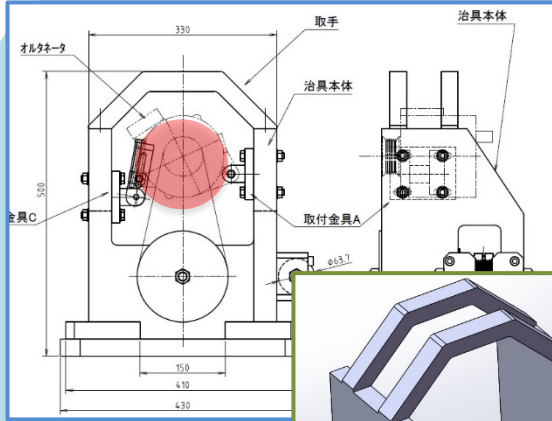


IMV  
振動制御器 K2

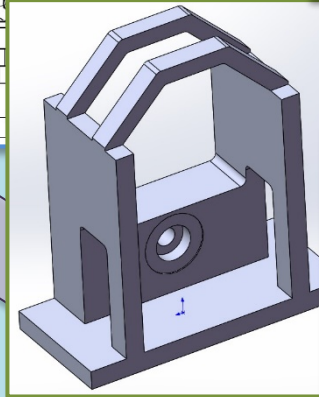
# DSS事業の取り組み① 加振状態シミュレータの開発



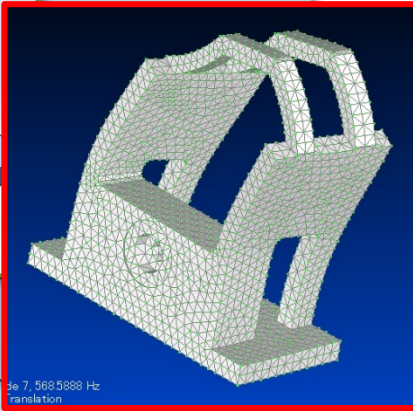
## 提供可能なサービス



治具計画



治具3Dモデル



加振状態シミュレータ

治具製作・納品



お客様

IMVに依頼

コンサルティング

供試品

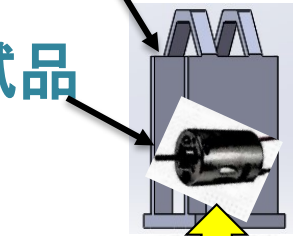


振動試験装置

治具

振動試験

供試品



お客様

IMVで実施

IMV CORPORATION

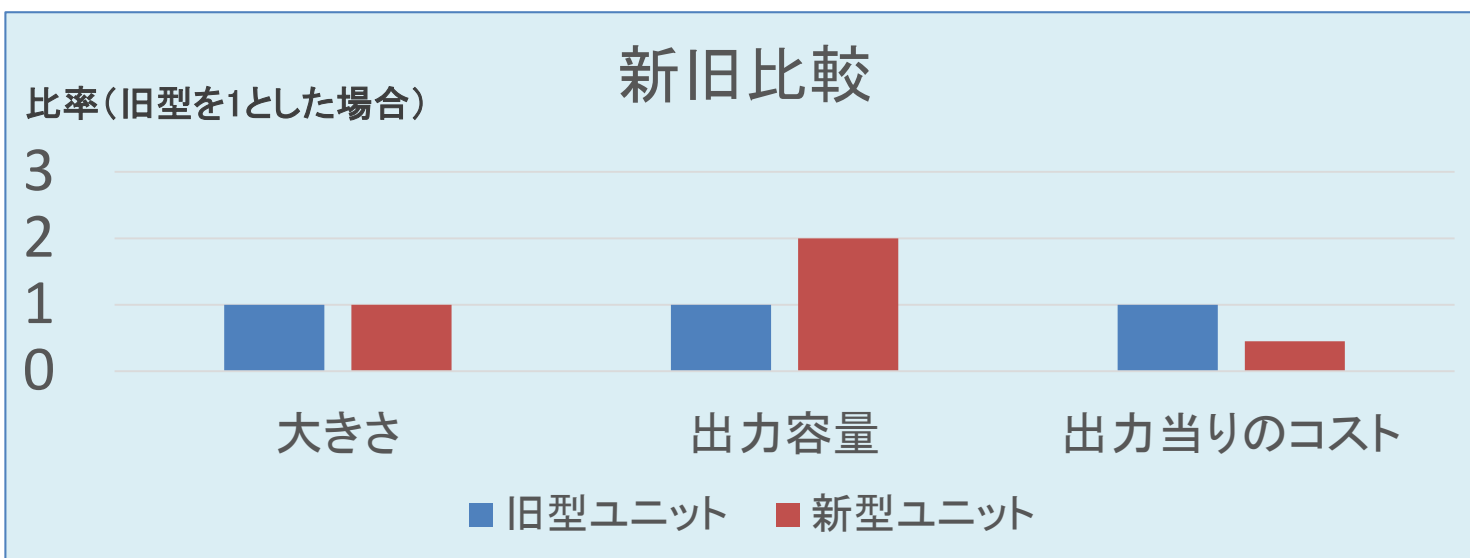
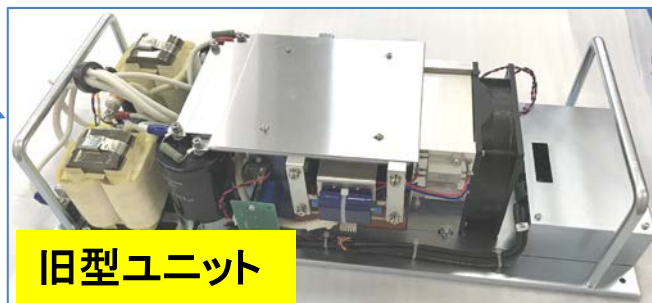
試験サポート

## DSS事業の取り組み②

### 新型出力ユニット(電力増幅器)の開発



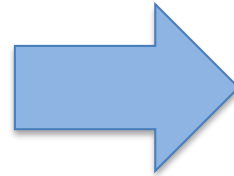
出力ユニットとは、電力増幅器の最も重要な部品であり、制御信号の増幅機能を有する







## DSS事業の取り組み② 新型出力ユニット(電力増幅器)の開発



### コストダウン

- ・単位容積あたりの出力が約2倍に
- ・同じ出力に対して1/2の個数となる
- ・年間 約1億円のコストダウン

### 省エネ 省スペース

- ・新パワー素子を採用しパワーロス $40\%$ ダウン
- ・特に大型電力増幅器では設置スペースの大幅な削減

### 低ノイズ

- ・新パワー素子の駆動回路の設計変更
- ・低レベル試験までの広範囲な試験を実現

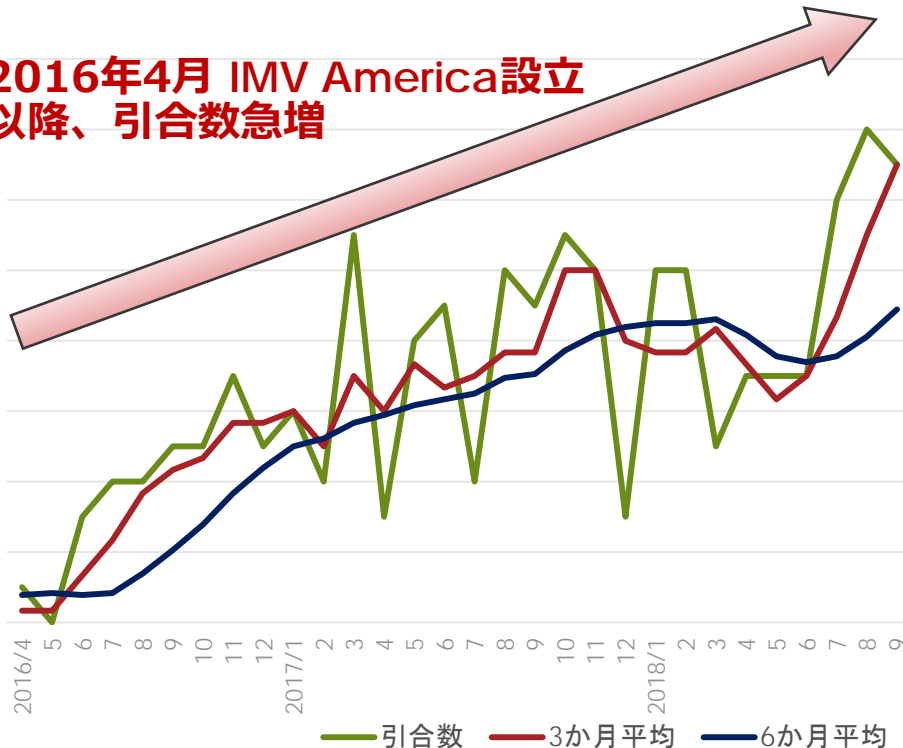
# DSS事業の取り組み③ アメリカサービス体制の強化



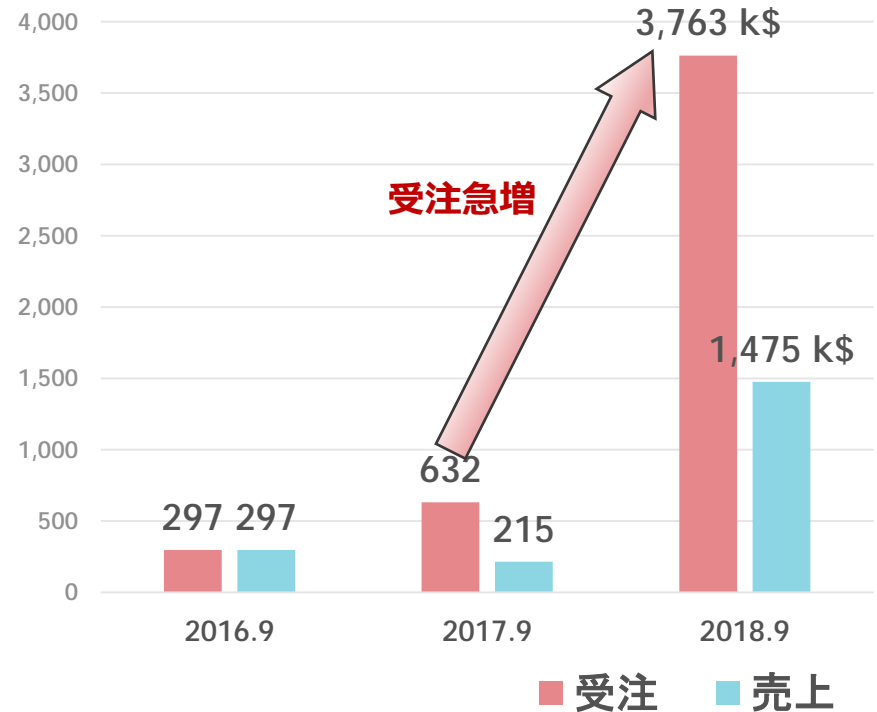
## IMV America 引合、受注・売上が急増

アメリカ国内の引合数

2016年4月 IMV America設立  
以降、引合数急増



アメリカ受注・売上推移



# DSS事業の取り組み③ アメリカサービス体制の強化



自動車関連顧客が集積する、ミシガン州デトロイト地区にサービス拠点を設置

→ サービス体制を強化し、米国自動車関連のマーケット需要を取り込む

**Anaheim**  
● IMV America, Inc. (Sales office)

**Detroit**  
IMV America, Inc. (Service office)

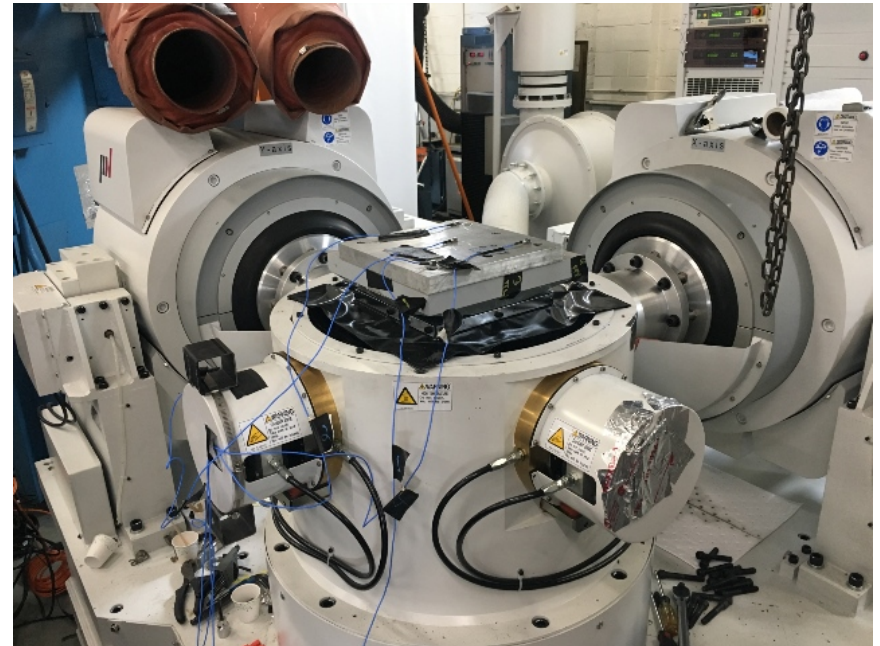
## DSS事業の取り組み③ アメリカサービス体制の強化



サービス拠点は自動車専門のテストハウスとも協力連携

→IMV製品のデモンストレーションサイトとしても機能させ、より効果的な販売活動を実施

### ●EM2405(J240 Eco-shaker)



# TSS事業の取り組み① e-TCJ設立(埼玉県入間市)



## 日本高度信頼性評価試験センター(e-TCJ)2018年12月3日操業開始

「e-モビリティ社会」に向け自動車を取り巻く技術が大きな変革期を迎える中、EV車主要部品の安全・安心を評価・担保する試験サービスの拡充を目的に、「日本高度信頼性評価試験センター」(略称：e-TCJ)を埼玉県入間市に開設。

**e-TCJ**  
e-TEST CENTER JAPAN

- 対象業界：EV車及び同部品メーカー様
- 試験内容：振動試験、塩水噴霧・温度衝撃・腐食試験等の環境負荷試験
- 対応規格：ISO16750等の現行規格  
新EV用試験規格 (ISO19453)  
各社の独自規格



所在地：埼玉県入間市宮寺  
敷地面積：5,686m<sup>2</sup>  
建物面積：A棟 3,400m<sup>2</sup>  
B棟 1,200m<sup>2</sup>

IMV CORPORATION

# TSS事業の取り組み① e-TCJ設立(埼玉県入間市)



## ISO19453対応試験装置例

汎用恒温恒湿槽



重量物対応 中型恒温恒湿槽



急速温度変化/  
直線勾配対応恒温恒湿槽



小型塩水噴霧装置



大型複合サイクル試験装置



汎用型振動試験装置 複合振動試験装置

大型サンプル対応 垂直・水平切り替え式 複合振動試験装置



# TSS事業の取り組み① e-TCJ設立(埼玉県入間市)



## e-TCJに関する新聞広告記事(参考)

### 「日本高度信頼性評価試験センター」開設

e-モビリティ社会に向け自動車を取り巻く技術が大きな変革期を迎える今、EV車に搭載される主要コンポーネントの受託試験サービス拡充を目的に、埼玉県入間市に「日本高度信頼性評価試験センター」(e-TCJ)を本年12月から操業開始します。

自動車及び自動車部品メーカー向けに振動試験に加え、広く塩水噴霧・温度衝撃等の環境負荷試験サービスを提供し、新たに制定されたEV車向け環境試験の世界標準『ISO19453』や、顧客独自の規格にも全面的に対応する受託試験サービス拠点を目指し試験項目・設備を増強していきます。

さらに腐食試験等、開設当初に設備を保有しない試験にも他社と連携することで対応可能で、信頼性評価試験のワンストップ対応で顧客の利便性の向上を図ります。また、新試験規格やEV化による供試品の大型化を受け、東名阪の既存ラボでも振動試験設備の増設・更新を進めており、EV開発に関わる多彩なニーズの変化に柔軟、且つスピーディに取り組んで参ります。

# TSS事業の取り組み② IMV TECHNO VIETNAM設立



## IMV Techno Vietnam CO., LTD.

- Establishment 16<sup>th</sup> April 2018
- Chairman Shoji Kakihara
- General director Hideo Mizoguchi
- Capital VND 22,439,000,000 (US \$ 1,000,000)
- Shareholder IMV CORPORATION 100%
- Employee 6
- Test lab. area 650m<sup>2</sup>
- Main Business
  1. Test Service
  2. Maintenance & Calibration (Plan)





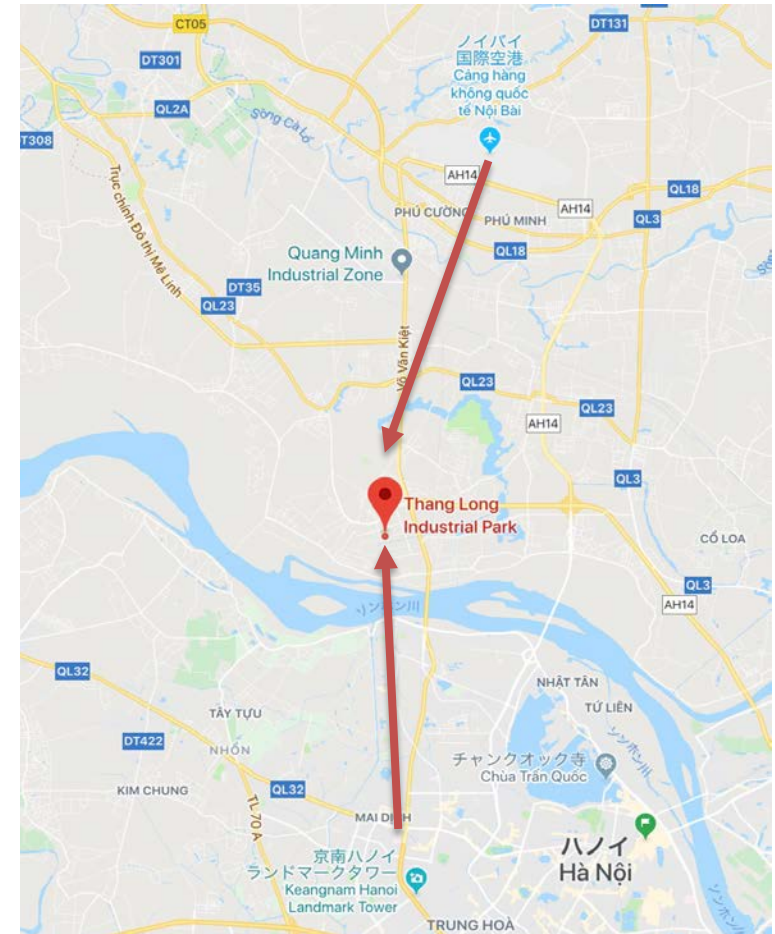
# TSS事業の取り組み② IMV TECHNO VIETNAM設立



## Company Address

Factory No. 13, Thang Long Apartment Factory No. 2, Plot P-7, Thang Long Industrial Park, Vong La Commune, Dong Anh District, Hanoi, Vietnam.

- Noi Bai Airport 14km (20 min)
- Hanoi Center 16km (40 min)
- Haiphong Port 120km (2 hrs)



# TSS事業の取り組み② IMV TECHNO VIETNAM設立



## 試験装置ラインナップ

水平テーブル付単軸動電式複合振動試験装置

•A74/EM8HAM



•A45/EM4HAM



恒温恒湿槽

•PL/4J (6台)



冷熱衝撃試験装置

•TSA-503EL-W



# MES事業の取り組み① 計測からIoTへのシフト



大手通信キャリアと提携し、クラウドサービスを含めた振動解析サービスに参入  
(2018年3月)

別の大手通信キャリアとも解析ソフトウェアで提携開始 (2018年6月)



IoT向け新製品「ラムダバイブロ」「構造ヘルスマニター」拡販開始 (2018年5月)



ラムダバイブロ VM-8018



構造ヘルスマニターHM0013

## MES事業の取り組み② 個別案件対応から、量産メーカーへ



大手ベアリングメーカーとベアリングのヘルスマニターで協業開始



ベアリング中身の不具合発見

国内外の核燃料関連の振動計に参入

MOX燃料に引火される振動量のモニタリングなど

※MOX燃料・・・プルトニウム再処理に際して出る核燃料

# MES事業の取り組み③ 海外展開の加速

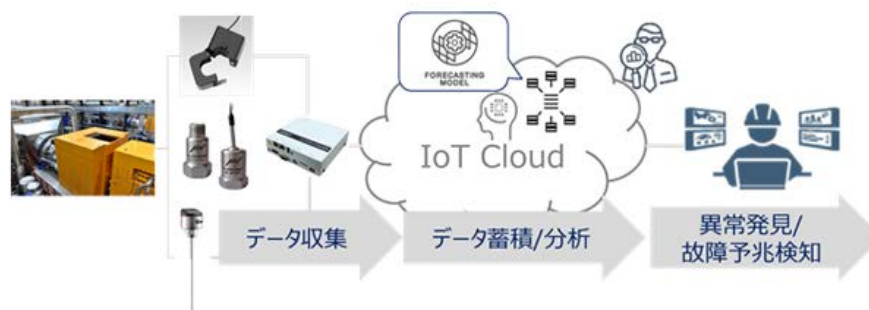


フィリピン法令に基づき、1,600件のショッピングセンターに地震計を順次納入中



地震計の納入先は、フィリピン最大の財閥「SMグループ」が運営するショッピングセンター

大手通信キャリアとの提携で海外案件も加速開始



<サービスイメージ>

国内大手通信キャリアと共同で、エアコン製造工場にIoT振動解析システムを納入

IMV CORPORATION

# MES事業の取り組み④ その他の新展開



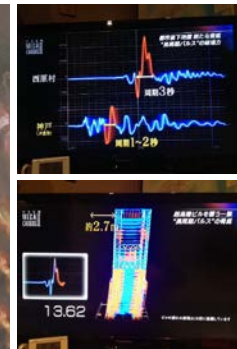
地震計を全世界的に「リース」「レンタル」を展開 → 商機を大幅に加速



地震波長周期モニタ HM-0013



NHKスペシャル(2017年9月2日)で地震長周期の恐怖が紹介される



国土交通省主導の【日本防災プラットフォーム(JBP)】のメンバーとして  
地震計の国際貢献に積極展開中



<https://www.bosai-jp.org/ja>

# ありがとうございました



代表取締役会長

小嶋 成夫

代表取締役社長

小嶋 淳平

経営企画本部長

濱里 一也

## ■ お問い合わせ先

IR窓口：経営企画本部経理部 IR担当 竹本

TEL: 06-6478-2565                      FAX: 06-6478-2567  
06-6478-2562(個人株主さま)

E-MAIL: [imvir@imv.co.jp](mailto:imvir@imv.co.jp)                      <http://www.imv.co.jp>

## ○免責事項

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保障するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。



1. 会社概要

2. 2018年9月期決算サマリー

3. 今後の取り組み

(ご参考資料)



## 貸借対照表の概要(連結)



(単位:百万円)

	18/9期末	17/9期末	増減額		18/9期末	17/9期末	増減額
流動資産	9,089	8,190	899	流動負債	7,239	5,644	1,595
現金預金	1,672	2,037	△ 365	仕入債務	2,685	2,426	259
売上債権	4,348	3,533	814	短期有利子負債	3,251	1,953	1,298
棚卸資産	2,585	2,229	356	その他流動負債	1,302	1,264	37
その他流動資産	483	390	93	固定負債	1,721	1,475	245
固定資産	6,279	4,926	1,352	長期有利子負債	1,332	918	414
有形固定資産	5,513	4,189	1,323	その他固定負債	388	557	△ 168
無形固定資産	365	376	△ 11	負債合計	8,960	7,120	1,840
投資その他資産	400	359	40	純資産合計	6,407	5,996	411
資産合計	15,368	13,116	2,251	負債・純資産合計	15,368	13,116	2,251

資産の部 : 売上債権が814百万円増加し、棚卸資産が356百万円増加し、一方現金預金が365百万円減少いたしました。

負債の部 : 仕入債務が259百万円増加し、短期有利子負債が1,298百万円及びその他固定負債が37百万円増加いたしました。  
また、長期有利子負債も414百万円増加いたしました。

純資産の部 : 純資産は411百万円増加いたしました。

# キャッシュフロー計算書の概要(連結)



(単位:百万円)

		18/9期	17/9期	増減額
①	営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 34	1,201	△ 1,235
②	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,917	△ 696	△ 1,221
①+②	フリーキャッシュフロー	△ 1,951	504	△ 2,456
③	財務活動によるキャッシュ・フロー	1,548	△ 235	+1,784
④	現金及び現金等価物に係る換算差額	19	44	△ 24
⑤	現金及び現金同等物の増減額	△ 383	313	△ 696
⑥	現金及び現金同等物期首残高	1,757	1,444	+313
⑦	現金及び現金同等物期末残高	1,374	1,757	△ 383

フリーキャッシュフロー: 営業活動により34百万円のキャッシュが減少し、さらに有形固定資産の取得等による投資活動に関する支出により1,917百万円のキャッシュが減少した事で、1,951百万円減少いたしました。

財務CF : 短期借入れによる収入1,300百万円及び長期借入れによる収入850百万円等の資金の増加要因が、長期借入金の返済による支出437百万円等の資金の減少要因を上回ったことにより、1,548百万円の増加となりました。



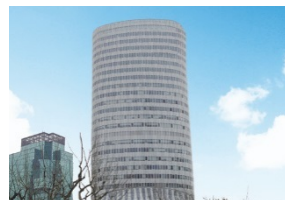
- 1957 株式会社 国際機械振動研究所(旧社名)を設立
- 1988 東京テストラボ開設
- 2005 ジャスダック証券取引所に上場
- 2011 10月、英国に IMV CORPORATION EUROPEAN TECHNICAL CENTRE を開設  
(現 IMV EUROPE LIMITED)
- 2012 1月、タイに IMV (THAILAND) CO., LTD. (子会社)を設立  
11月、ドイツに IMV CORPORATION German Sales Office を開設  
(現 IMV EUROPE LIMITED German Sales Office)
- 2013 5月、IMV株式会社 上海代表所を設立
- 2015 1月、英国にIMV EUROPE LIMITED European Manufacturing Centreを開設  
11月、東京テストラボ 上野原サイト 高度試験センターを開設
- 2016 4月、米国にIMV America, Inc.(子会社)を開設
- 2017 7月、英国に1G DYNAMICS LIMITED.(子会社)を開設
- 2018 4月、ベトナムにIMV TECHNO VIETNAM COMPANY LIMITED.(子会社)を設立  
12月、日本高度信頼性評価試験センター(e-TCJ)を開設



IMV (THAILAND) CO., LTD.



IMV EUROPE LIMITED  
German Sales Office



IMV株式会社 上海代表所



IMV EUROPE LIMITED



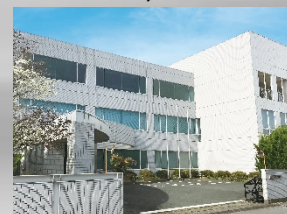
東京テストラボ 上野原サイト  
高度試験センター



IMV America, Inc.



1G DYNAMICS LIMITED



日本高度信頼性評価試験  
センター



IMV TECNO VIETNAM CO., LTD.



[SECURE THE FUTURE]



**FIRST choice**  
for our Partners

## IMVが見守る未来

IMVは1957年の設立以来、振動問題のソリューションパートナーとしてさまざまな分野と携わってきました。これからも、製品→パートナー→社会に対して、信頼を形にする企業であり続けます。

### Future

**安全を見つめて未来の社会に貢献します。**

IMV work with our customers and investors to secure their future, developing the products, skills and resources that will bring success. IMV appreciate this and work fast to meet our Partners' future needs.

### Integrity

**誠実で開かれたパートナーシップを大切にします。**

IMV treat our customers, suppliers and investors with the highest of integrity, dealing with all our partners in an open and honest manner. IMV work hard to earn and keep your trust.

### Reliability

**製品とサービス、すべてに信頼を作り込みます。**

Our customers use IMV's products to ensure reliability and performance. We build this reliability into all our products and services. IMV will be there when you need us.

### Strength

**振動技術の世界リーダーとして経営基盤を強化します。**

IMV's financial strength means we will be a long-term partner for our customers and able to invest in the research for new products. IMV have the strength in finances, products and people to serve our customers on a global basis. We have the strength to be the World's Number 1 Vibration Test and Measurement Company.

### Technology

**顧客ニーズに俊敏に応える技術を開発します。**

IMV invest substantially in research to understand our Customers' needs and the products to meet those needs. IMV have been the first to market with many new products and technologies and we will continue to lead the market through technology and innovation for the benefit of our customers and investors.